

道の駅整備事業 住民説明会

1. 事業説明
2. 質疑応答

令和8年5月14日(木)・16日(土)・20日(水)

三芳町 道の駅整備準備室 道の駅整備担当

はじめに

道の駅の整備に向けて、取り組んでまいりました。

H30 (仮称)三芳バザール賑わい公園基本構想の策定

政策研究所での検討

R5

「みよし野ガーデン里山探訪」ガーデンツーリズム登録

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」世界農業遺産認定

三芳スマートICフル化供用開始

R6

三芳町第6次総合計画の策定

・(仮称)地域活性化発信交流拠点整備の推進

R7

基本計画の策定

整備計画の策定



整備計画の検討

(仮称) 地域活性化発信交流拠点整備計画策定検討委員会

第1回 ① 基本計画書 ② 整備の方向性 ③ 検討体制

第2回 ① 前提条件の整理・整備方針の検討 ② 需要予測
③ 導入機能及び施設規模
④ サウンディング調査（概要）

第3回 ① サウンディング調査
② 導入機能・配置計画（案）
③ 事業採算性・事業手法・概算事業費

第4回 ① 配置計画 ② 概算事業費
③ 事業採算性 ④ 事業企画
⑤ 整備効果 ⑥ 事業スケジュール

第5回 ① 整備計画（案）



東京大学大学院
農学生命科学研究科
八木信行 教授

東京大学HPより



立正大学
地球環境科学部地理学科
伊藤徹哉 教授

立正大学HPより

飯能信用金庫、三芳町商工会
いるま野農業協同組合

パブリックコメント
(2月18日～3月22日)

整備計画 策定 (3月)

この他、三芳町農業経営研究会、みよし野菜ブランド化推進研究会や商工会など様々な専門的知見を持つ皆様の意見を伺いながら、計画を進めてまいりました。

道の駅とは

道の駅は現在全国に1231駅あり、埼玉県内に21駅あります。
(令和7年12月現在)



圏央道内側

※ 埼玉県ホームページから引用し、三芳町で加工

道の駅とは

道の駅では、各地域で様々な工夫を凝らした特産品などが魅力となっています。

オッカー桶川 ソフト&クレープ

桶川産牛乳使用

年2回のみ 桶川産牛乳 楽しめる!!

ドリンク類はすべて 桶川牛乳 使用

ミルクソフトは 桶川牛乳 使用

クレープ生地にも 桶川牛乳 使用

11月 限定 1~5日

桶川産牛乳

オッカー桶川 ソフト&クレープ

桶川産牛乳

「道の駅べに花の郷おけがわ」ホームページより

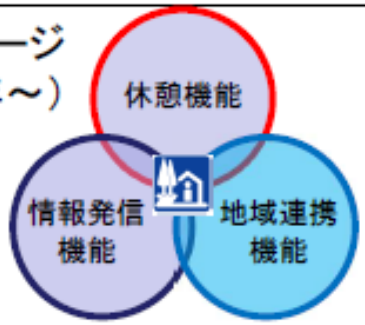





あなたと白菜の出会い
君もこの冬ベジポタに恋をする

まってました!♡

ベジポタラーメン

号外

「道の駅常総」ホームページより

	1993年	...	2013年	...	2020年	...	2025年	...
<p>第1ステージ (1993年～)</p> 								
<p>第2ステージ (2013年～)</p> <p>道路利用者の 休憩の場</p> 	<p>「道の駅」の担う 役割が拡大</p> 							
<p>第3ステージ (2020年～)</p> 	<p>ネットワーク化で活力ある 地域デザインにも貢献</p> 							

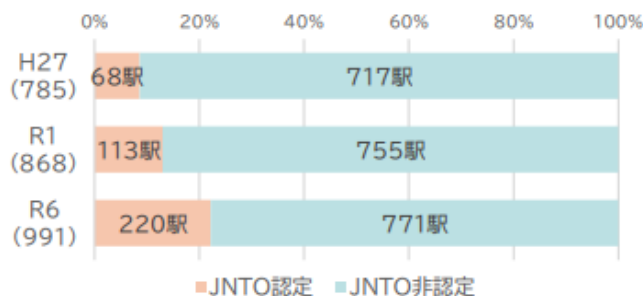
道の駅「第3ステージ」の目指す姿

1. 道の駅を世界ブランドへ

インバウンド需要の増加

- 近年、インバウンド需要は増加傾向。新型コロナウイルスの影響で一時減少したものの、令和4年にはコロナ前の約8割にまで回復
- 地方を巡るドライブ観光など、外国人観光客のニーズは多様化
- 観光情報発信や特産品販売等、外国観光客のニーズが高いサービスを提供する「道の駅」は、新たなインバウンド観光拠点として期待

外国人観光案内所の認定数



JNTO認定外国人観光案内所
(英語、中国語、フランス語で案内可)

道の駅「阿蘇」



外国人向けパンフレット置場

キャッシュレス対応

- 「道の駅」を新たなインバウンド観光拠点とすべく、キャッシュレス機能の導入を推進
- 81%の駅が導入済、目標達成(2023.4時点)

全国道の駅連絡会では、三井住友カード(SMCC)、NTTドコモ、KDDIと協働で、キャッシュレス決済推進事業を実施中



多言語対応

- 「道の駅」を新たなインバウンド観光拠点とすべく、多言語対応を推進
- より高度な多言語対応が求められる区分に認定される「道の駅」もあり、今後さらに認定案内所のブランド力を高めることで、サービスの質が向上し、案内機能が一層高まることが期待される

道の駅「第3ステージ」の目指す姿

2. 「防災道の駅」が全国の安心拠点へ

能登半島地震での対応

- 令和6年1月に発生した能登半島地震では、「防災道の駅」や防災拠点自動車駐車場である「道の駅」が防災拠点として活躍
- 「道の駅」のネットワークを活用した広域的な支援も実施



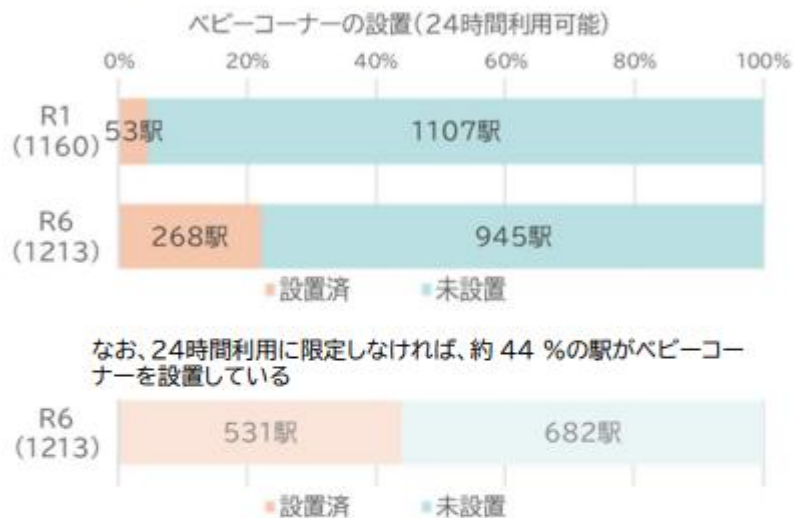
「道の駅」第3ステージ
 推進委員会
 資料より

道の駅「第3ステージ」の目指す姿

3. あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターへ

子育て応援の推進

- 子育てを応援する施設として、おむつ交換台や授乳室などの設置を推進



大学連携の推進

- 学生が「道の駅」で地域の特産品をいかした商品開発に取り組むなど、大学等との連携を実施



道の駅「風早の郷風和里」
学生による商品の企画



道の駅「パレットピアおおの」
キッズルーム



道の駅「ふたついで」
24時間利用可能なベビーコーナー
授乳室内におむつ交換スペースも設置



「道の駅」第3ステージ
推進委員会」資料をもとに、
三芳町で加工
「柑橘まつり2023」出店

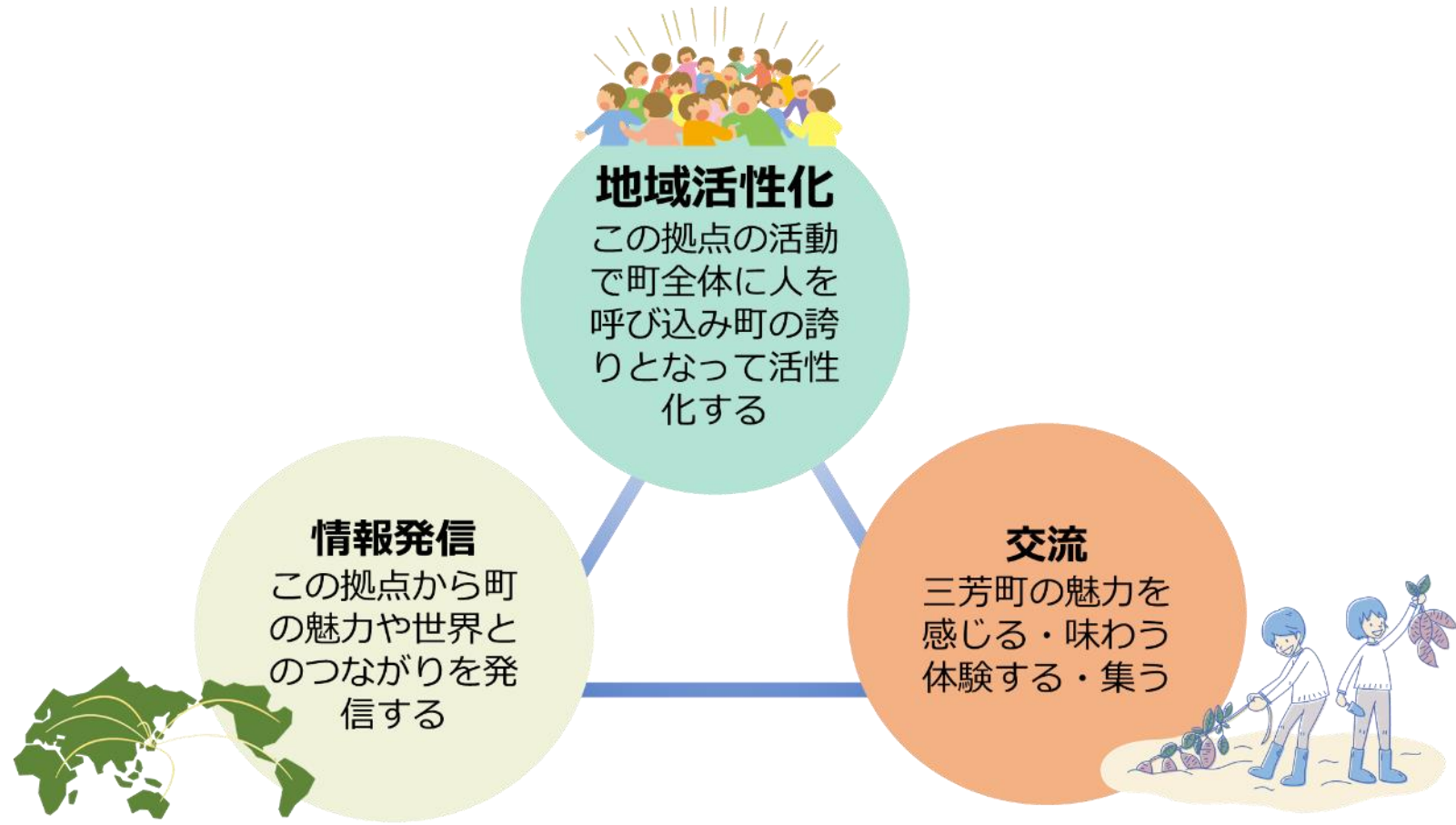
「道の駅」第3ステージ
推進委員会」資料をもとに、
三芳町で加工

コンセプト

令和7年5月に策定した基本計画では、基本方針、コンセプト、導入施設、規模、配置計画等を取りまとめました。

明日へとつなぐ三芳町の魅力再発見

～世界農業遺産から産業・文化・生活の発信拠点～



利用ニーズ調査

Webアンケート

町の強み（世界農業遺産、武蔵野の美しい平地林、みよし野菜等）を活かした拠点づくりをしてほしい

三芳PA利用者アンケート

周辺住民アンケート

子どもが楽しめる あるいは一緒に過ごしやすい施設がいい

子育て世代アンケート

農業者アンケート

農業レストランを整備し、三芳町産の農作物の販路とすることで、廃棄の削減にも繋げていきたい

導入機能及び施設規模の検討

地域振興機能

子育て支援機能

飲食機能

情報発信機能

物販・アンテナショップ機能

休憩機能

レクリエーション機能

農業・里山体験機能

交通結節機能

防災機能

※この図面は計画案であり、今後参入事業者の提案により変更になることがあります。

1階（配置図）



 24時間開放区域

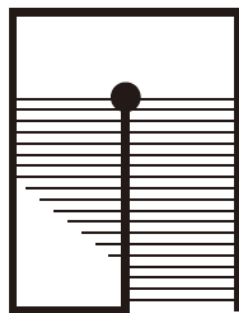
※この図面は計画案であり、今後参入事業者の提案により変更になることがあります。

2階（配置図）

厨房・事務室

飲食施設

町の紹介
コーナー



多目的室

ミュージアム

地域振興機能

◆世界農業遺産ミュージアム



のと里山里海ミュージアム（七尾市）



◆多目的室（研修室）



研修室
道の駅しもつけ（下野市）

子育て支援機能

◆ベビーコーナー



24時間利用可能ベビーコーナー
道の駅たちばな（八女市）

◆キッズスペース



キッズスペース
市民活動センター（丸亀市）

◆森の遊具



飲食機能



野菜ビュッフェ
(横浜市)



農家レストラン
道の駅野沢温泉 (野沢温泉村)

情報発信機能



デジタル観光情報案内
道の駅かさま (笠間市)

物販・アンテナショップ機能

◆農産物直売所



農産物直売所
道の駅かさま (笠間市)

◆水産物販売所



水産物販売所
産直市場よってって (田辺市)



デジタルサイネージ交通情報
道と川の駅花ロードえにわ
(恵庭市)

農業・里山体験機能

◆緑地（開発面積の25%）



武蔵野の雑木林
（三芳町）



落ち葉掃き体験
（三芳町）

レクリエーション機能

◆屋根付き休憩所（多目的利用）



多目的利用可能な半屋外空間
道の駅果樹公園あしがくぼ
（横瀬町）

休憩機能

◆トイレ



バリアフリートイレ
道の駅おおがた（南秋田郡）

◆駐車場



屋根付きバリアフリー駐車場
道の駅ふくしま（福島市）

交通結節機能

◆路線バス停留所



路線バス停留所
道の駅和紙の里ひがしちちぶ
(東秩父村)

◆サイクルステーション



サイクルステーション
道の駅まえばし赤城
(前橋市)

防災機能

◆防災用井戸



防災用井戸
道の駅しらね (南アルプス市)

◆防災倉庫

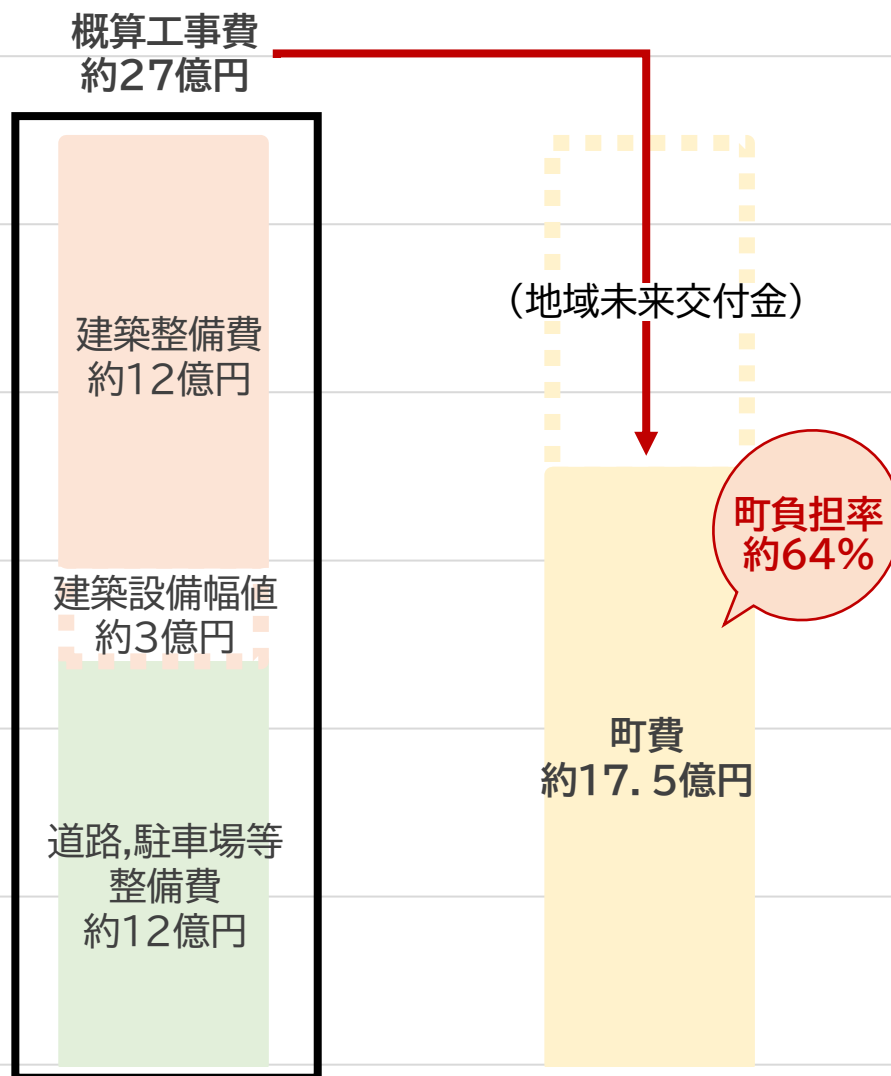


防災倉庫
道の駅しんよしとみ (上毛市)

※この図面は計画案であり、今後参入事業者の提案により変更になることがあります。



概算工事費は、約24～27億円（用地費を除く）を想定しています。
建築設備幅値として約3億円を見込んでいます。



このほか、設計費、工事監理費、備品購入費に約4億円を見込んでおります。

実施設計における詳細検討や、今後の物価高騰の影響等により、事業費に増減が生じる可能性があります。

年間売上高を予測した結果、約3.8億円/年が見込まれます。

営業利益は、全体で約3500万円/年が見込まれました。

民間事業者から利益等の一部を町へ還元していただく予定です。

利益の一部を
町に還元

年間想定入込客数
約53万人

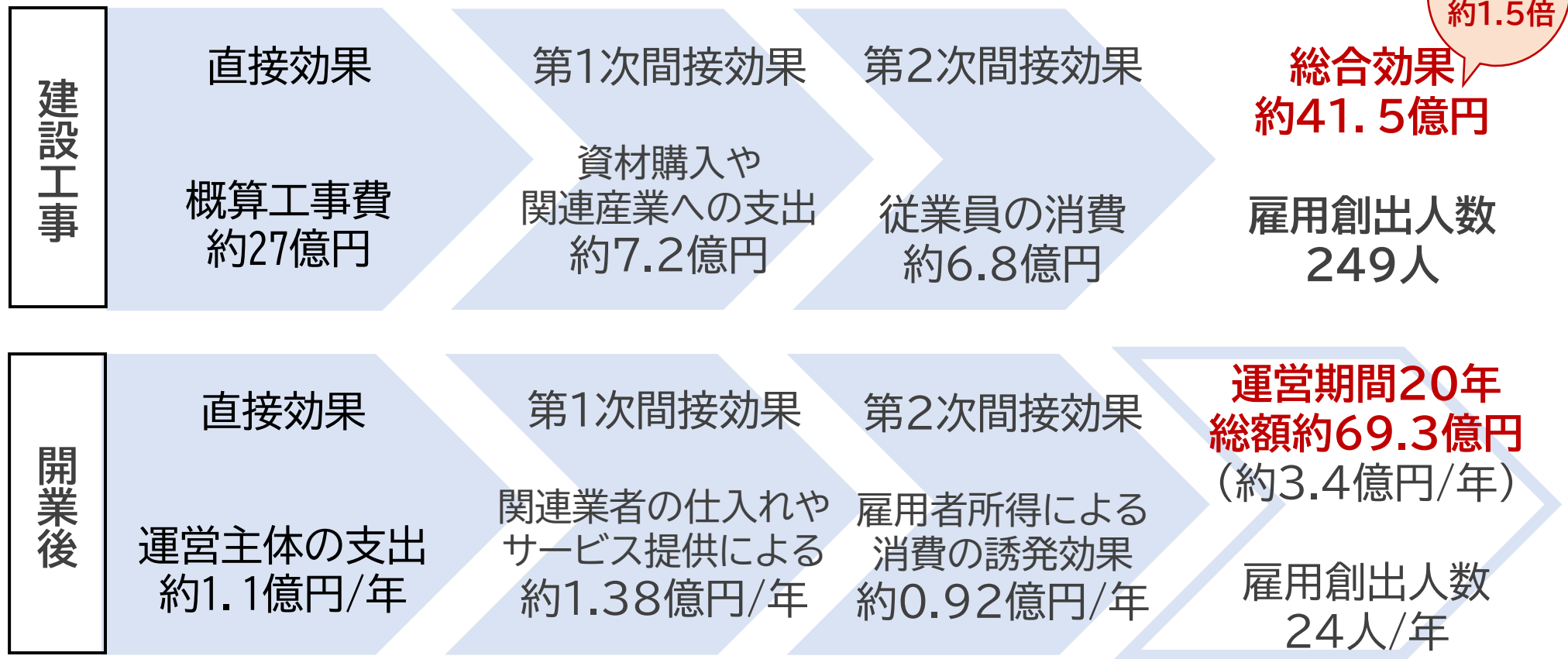
年間売上高
約3.8億円

年間営業利益
約3500万円

経済波及効果

産業連関表による経済波及効果分析により、本事業による直接・間接の経済効果の検討を行いました。

合計で**約110億円**の経済波及効果があり、地域経済に長期的な寄与があると想定されます。



社会的に期待される効果

1 世界農業遺産など地域資源の価値発信による 地域ブランド力向上による波及効果

道の駅を通して、**地域への愛着を持ち住み続けたいと感じる住民の増加、農業への新規参入者の拡大、観光入込客数の増加**などの効果が期待されます。



社会的に期待される効果

2 大規模災害に対する防災機能強化

道の駅は災害時には、応援部隊の進出拠点となる三芳PAに隣接しており、この立地を活かし、**物資輸送・支援活動の中継拠点として広域的な防災支援を支える拠点**となることが期待されます。



支援物資の提供



支援物資の集配拠点



支援物資の運搬



災害対応車両の集結



災害対応の拠点

社会的に期待される効果

3 多世代の交流による交流人口・定住人口の増加

道の駅は、子どもから高齢者まで、様々な世代の来訪が期待されます。
地域とのつながりや活動機会が増えることで子育て環境への満足度が向上し、交流人口・関係人口の拡大が期待されます。



社会に貢献する事業企画 季節イベント



花の苗販売・寄せ植え体験



道の駅で行う夜市



道の駅のイルミネーションイベント

経済に貢献する事業企画 世界農業遺産×食文化 イベント



雑木林の落ち葉集め・堆肥づくり



地元シェフによるライブクッキング



世界農業遺産の食文化イベント

環境に貢献する事業企画 武蔵野の雑木林×自然体験



ミュージアムにおけるイマーシブ体験



道の駅のなかの雑木林ガイドツアー



道の駅の一角で森のカフェのイベント

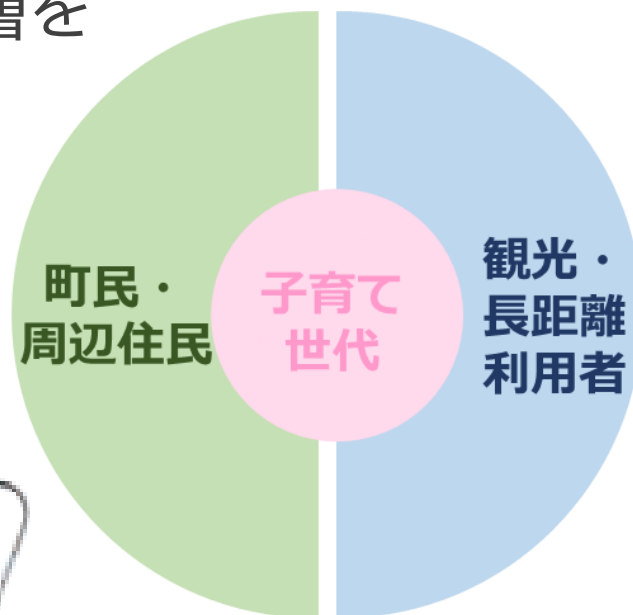
三芳PAや周辺施設との違い

Q1

新しい道の駅と
三芳PAとの違いや差別化が
どうなるのか気になるよ～。



三芳PAは高速道路利用者を対象とした展開になっておりますが、一般道に接続する道の駅では、より幅広い年齢層を想定しており、三芳町ならではのグルメや三芳やさいなど地域のものを販売することで差別化を図りたいと考えております。



Q2

道の駅が完成したら、
どのように交通対策は
行われるのかな～？



- ・混雑を避けるため
営業時間を調整し、
対応していきます。
- ・出入口を2ヶ所設置し
渋滞緩和を図ります。



三芳町内と近隣にある食品工場の直売コーナーを設けては。

★ ★
キャンプエリアの併設を提案します。

星空観望会ができると素敵

三芳町の芋を活性化するような食事やアンテナショップなどを作ってほしいです

車中泊者専用の有料駐車場、有料シャワールームを作って頂きたい。

コラボ商品など、三芳町ならではの商品開発をお願いします。

屋内外の遊び場ですが、できれば年齢制限を設けずに使わせて頂けるとありがたいです。



ドッグランをつかってほしい

子どももペットも利用できる芝生的な緑地公園が欲しい。犬と一緒に食事ができる屋根やパラソル付きのテラススペースも欲しい。

ペットも連れて行ける道の駅にしてほしいです！



事業スケジュール

今後の事業スケジュールを以下に示します。

項目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
事業者公募	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針案の公表 ・質問回答の公表 ・特定事業の評価・選定 ・事業者選定 				
住民説明会					
設計					
工事					
運営					

事業者選定

まちづくり懇話会での報告

まちづくり懇話会での報告

基本設計説明会(予定)

- ・商品開発
- ・施設計画(売場のイメージなど)
- ・情報発信
- ・イベント企画

開業準備

- ・出品準備
- ・什器調達
- ・従業員研修

供用開始予定

ご清聴
ありがとうございました。

アイデア応募はこちらへ →
(令和8年6月30日まで)



三芳町 道の駅整備準備室 道の駅整備担当